宮崎県知事	河野	俊嗣	殿
	1円判	久間"	八人

住	所	₸			 
(ふり	がな)				
商号	景又に	は名称			 
債権	霍者霍	号			 
(ふり	がな)				
氏	名	, ]			 印
(法人	にあっ	ては,代表者の職氏名)			
電	請	f	_(	)	 

### 競争入札参加に必要な書類について(提出)

宮崎県が行う物品の借入(ソフトウェア資産管理システム)に係る競争入札に参加したいので、指定の書類を添えて提出します。

この申請書及び添付書類のすべての記載事項は、事実と相違ないことを誓約します。

記

### 1 納入しようとする主な装置構成

 15 TO 3 TO				
機 種	口口	名	型	名
ソフトウェア資産管理システム				

<sup>※</sup> 納入する機種に関してはカタログ等を添付し仕様書にある各スペック等の該当部分に付箋を付け、マーキングすること。

#### 2 要求仕様

- , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
項目	内 容	証明
(1)機能	要求仕様に基づくすべての機能を有	別紙①のとおり
	していること。	(各項目について確認の
(2)装置の設置・設	要求仕様に基づく物品の設置・設定・	上、「回答」欄に〇印を付
定・動作確認	動作確認が可能であること。	けること。)
(3)保守体制及び賃	要求仕様に基づく保守が可能である	別紙②のとおり
貸借方式	こと。	別紙③のとおり
[ 資借力式	<u> </u>	別紙③のとおり

※ 保守体制の証明書類(別紙②)及び賃貸借方式の証明書類(別紙③)については、規格はA4判で様式は任意とします。

申請書類提出者	
連絡先電話番号	
電子メールアドレス	

仕様項目	仕様内容	回答	補足説明	資料 No
1	全般			
ア	本契約には、ソフトウェア資産管理システムの賃貸借及び保 守に係る一切の費用を含むものとする。			
1	本調達で導入するシステムは、5年間使用するものとし、調達 するシステム等は、使用期間において問題なく動作するもの とすること。			
ウ	構築時及び保守期間においては、不具合対応や各種調整について誠実に実施すること。			
2	動作環境			
ア	管理サーバを構成する仮想アプライアンスについて、対応するハイパーバイザーと、管理対象端末台数に応じて必要なスペックを満たすシステムリソースを用意すること。			
イ	エージェントは Windows 10 および 11 に対応していること。			
ウ	管理コンソールについて、Google Chrome、Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Safari に対応していること。			
工	Active Directory管理環境以外にワークグループ環境もある事を考慮し、ワークグループ環境での利用も可能であること。			
オ	利用環境に有線 LAN 環境と無線 LAN 環境が併存することから、どちらの環境でも端末を管理し対応できる製品であること。			
カ	管理サーバと管理対象端末間の通信が暗号化されること。			
+	管理端末が侵害された場合や中間者攻撃に備えるため、512 ビットの楕円曲線暗号 (ECC) 方式を用いて、指示が正規のものであることが認証されること。			
ク	同時に 6,000 台の管理端末を対象として任意のファイル配信 指示を実行させる際にも、中継サーバや配布ポイント、キャッ シュサーバなどの中継専用端末を必要としないこと。			
ケ	管理エージェント本体はユーザーモードで動作すること。			
П	Windows の新しいバージョンや Feature Update がリリースされた際に、改修することなく管理エージェントが動作するよう、極力 Windows の標準 API を活用した設計であり、実績としても過去の Feature Update リリース時の改修がないこと。			
サ	県が利用するウ USB 暗号化エージェント、ウィルス対策エージェント、クライアント運用管理エージェントなどの端末常 駐型ツールと共存できること。			
3	基本要件			
ア	運用統合を計るため、また、障害時の切り分け容易性を考慮し、後述の機能要件を単一製品単一エージェントで充足し、単一管理コンソールで管理できること。			

イ	管理対象端末へはエージェント本体のみをインストールし、		
	必要な機能追加は、管理コンソールの操作により遠隔でエー		
	ジェントへ配信および有効化が可能であること。		
ウ	エージェントについて、サイレントインストールが可能であ		
	ること。		
エ	管理コンソールにより運用が可能であること。ダッシュボー		
	ド機能を備えており、管理端末から収集可能な情報に基づき		
	任意のグラフを選択表示でき、データが日々自動更新される		
	こと。		
オ	運用にあたり、ツール固有の独自言語やクエリ構文の習得を		
	前提条件としないこと。		
カ	管理端末から収集した情報を管理コンソールの操作によ		
	り.csv 形式でエクスポートできること。		
丰	収集した情報や発生したイベントを、Syslog サーバ、SIEM、		
	SQL サーバ等の外部システムに自動送信できること。		
<u> </u>			
ク	端末管理通信量を低減するため、情報収集命令に対して管理		
	端末は、文字列ではなく、10 バイト以下のハッシュ値を回答		
	すること。ハッシュ値と対応する文字列のマッピングは、管理		
	サーバと管理端末の間で自動的に同期・更新されること。		
ケ	同一サブネットに管理端末が複数ある場合は、自動的にリニ		
	アチェーンが構成され、管理サーバと管理端末間の通信が低		
	減されること。		
コ	すべての管理端末が数十秒ごとに管理サーバに自動接続して		
	軽量な通信量で自己の状態を報告することにより、オフライ		
	ンやスリープ状態になった管理端末が常時把握され、リニア		
	チェーンがいつでも自動的に再構成されること。		
サ	指示を実行する対象としたすべての端末が同時に処理を開始		
	することによってネットワーク通信や仮想基盤のシステムリ		
	ソースが逼迫することのないよう、処理を開始するタイミン		
	グは、任意の時間内でランダムに分散されるよう指定できる		
	こと。		
シ	拠点ごとにファイル配信に割くことが可能なネットワーク帯		
	域は異なるため、帯域制御については、ファイル配信先のサブ		
	ネットごとに任意の値で設定できること。		
ス	管理対象端末の指示実行時点における状態や設定を条件にし		
	た動的グルーピングが可能であること。(所属する AD OU、		
	その時点における IP アドレス、ディスク空き容量が一定の数		
	値以下、指定するレジストリ値と合致する等)		
セ	管理端末の用途や所属組織などを容易に識別するためのタグ		
	付け、追加、編集、削除ができること。		
ソ	識別するためのタグごとに検索をかけることができること。		
タ	検索に絞り込みをかけることができること。		
<i></i>	TXXX CAX AND OCCA COOCCO		

チ ツ	管理対象端末の最新の状態をいつでも迅速かつ正確に把握するため、オンラインである全管理端末を対象として、管理サーバから以下の情報および状態の収集命令を発行し、命令発行時点でのオンラインである全端末の情報および状態を 5 分程度で取得可能なこと。 - ネットワーク設定情報(IPアドレス、サブネットアドレス、接続されているワイヤレスネットワークの詳細情報等) - 起動中のプロセス一覧 - ハードウェア情報(OSリリースビルド情報、CPU使用率、メモリ使用量、ディスク空き容量等) - 特定のファイルのバージョン情報 - 特定のレジストリキーの値		
	リプトを実行させることが可能であること。		
4	機能要件		
<i>P</i>	組織のネットワークに接続されているデバイスを把握し、非管理端末を可視化するため、エージェントが稼働する管理端末が 1 台以上存在するサブネットについて、1 時間ごとに接続されている IP デバイスの自動探索および検出ができること。尚、IP アドレスを範囲指定することにより、探索範囲の指定や除外が可能であること。また、探索の際にマルチキャスト通信やブロードキャスト通信を使用しないこと。ネットワークセグメントによっては探索のための通信が発生することが好ましくないため、探索のための通信を発生させないパッシブスキャンを選択することが可能であること。		
1	Windows パッチ管理について、WSUS を必要とせず、適用状態の可視化および配信適用の一元管理ができること。		
ウ	Windows パッチ以外の更新管理として、任意のアプリケーションおよび Windows Feature Update の適用状態の可視化および配信適用の一元管理ができること。		
エ	パッチやアプリケーション配信や更新の効率化および適用率 の迅速な向上を計るため、配信されるファイルは 100KB 未満 の単位に分割された状態で管理サーバから端末に配信され、 配信途中で端末が一度オフラインになった場合も、オンライ ン復帰後は続きからダウンロードされること。		
オ	Windows パッチの配信適用について、適用対象とするパッチおよび端末の条件、適用スケジュールを、管理者が指定できること。また、管理者が事前に設定することにより、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始することも可能であること。		
カ	リリースされた Windows パッチに問題がある場合に備え、パッチのブラックリスト設定、パッチの一括アンインストール(該当パッチがアンインストールをサポートする場合)が可能であること。		
+	処理が開始された任意の Windows パッチ、Windows Feature Update や任意のアプリケーションの配信適用ステータスについて、いつでも管理コンソールからオンライン端末に取得指示を出すことができ、その時点における各対象端末の配信		

と。		適用ステータス、発生したエラーを 5 分程度で閲覧可能なこ		
Click-to-Run、主要なりェブブラウザについては、容易に管理するためのテンプレートが標準で提供されること。           ケ         端本の管理者機関を有効化する処理を別速を加えることなく、任意のアプリケーションのインストールを一元管理できること。ただし、ログインユーザがインタラクティブにインストールウォザードを操作する必要があるアプリケーションも存在するため、ログインユーザ権限で任意のコマンドを実行させることも可能であること。           コ         Windows Feature Update や作章のアプリケーションの無信適用について、適用対象とする端末の条件、適用時点で必須とするディスク空き容量、適用スケジュール、通用成功要件を、管理者が指定できること。また、管理者が事前に設定することとより、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始することも可能であること。           サ         Windows Feature Update 適用前に特定のアプリケーションを最新バージョンにアップデートしておくことにより、複数のアプリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。           シ         適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows パッチャ任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。           ス         管理選末が検験している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であること。           カドロジェールを管理者が接近する場合、Lと端末の特定が可能であること。         情報収集命合はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。           ケ         情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。           ケ         であること。           サ         エージェントインストール消端末と同じセグメント内のエージェントオインストール消端末を開びまたとと。           ウ         管理者権限はグループ化できること。           ウ         管理者権限はグループ化できること。           ラ         型定検種           ・Tanium Deploy (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加・Tanium Deploy (追加・Tanium Deploy (追加・Tanium Deploy (追加・Tanium Deploy (追加・Tanium Depl				
するためのテンプレートが標準で提供されること。           ケ         端末の管理者権限を有効化する処理を別途加えることなく、任意のアリケーションのインストールを一定管理できること。ただし、ログインユーザがインタラクティブにインストールウィザードを操作する必要があるアリケーションも存在するため、ログインユーザ権限で任意のコマンドを実行させることも可能であること。           コ         Windows Feature Update や付意のアプリケーションの配信適用について、適用対象とする場合の条件、適用時点で必須とすることにより、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始することにより、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始することにより、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始することも可能であること。           サ         Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。           ウ         Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。           ウ         適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows パッチや作意のアプリケーションの適用時に、単前に設定した信意のメッセージを満末している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。           セ         情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。           ウ         管理者が入力した情報収集命令ロマンドを自動で補完できること。           ク         情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。           ク         情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。           ク         情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。           ク         情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。           ク         情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能できること。           ク         情報を検索をしまれる様式できること。           ク         情報を使用をクラストールのエージェントインストールの・エールの・Tanium Deploy (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Patch (適加モジュール)・Tanium Patch (適加モジュール)・Tanium Patch (適加モジュール)・Tanium Patch (適加モジュール)・Tanium Patch (適加・ビジュール)・Tanium Patch (適加・ビジュール	ク	Windows 10 および 11 の Feature Update や、Microsoft Office		
<ul> <li>第末の管理者権限を有効化する処理を別途加えることなく、任意のアプリケーションのインストールを一定管理できること。ただし、ログインユーザ権限で任意のコマンドを実行させることも可能であること。</li> <li>コ Windows Feature Update や任意のアプリケーションの配信適用について、適用対像とする端末の条件、適用成功要件を、管理者が指定できること。また、管理者が再定のシブニール、適用成功要件を、管理者が指定できること。また、管理者が開定のシブニール、適用成功要件を、管理者が指定できること。また、管理者が再定のアプリケーションを最新・メーザが任意のタイミングで適用を開始することも可能であること。</li> <li>サ Windows Feature Update 適用前に特定のアプリケーションを最新・メーザが任意のタイミングで適用を開始することも可能であること。</li> <li>ウ</li></ul>		Click-to-Run、主要なウェブブラウザについては、容易に管理		
任意のアプリケーションのインストールを一元管理できること。ただし、ログインユーザがインタラクティブにインストールウィザードを操作する必要があるアプリケーションも存在するため、ログインユーザ権限で任意のコマンドを実行させることも可能であること。  Windows Feature Update や任意のアプリケーションの配信適用について、適用対象とする端末の条件、適用時点で必須とするディスク空き容量、適用スケジュール、適用成功要件を、管理者が指定できること。また、管理者が事前に設定することにより、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始することも可能であること。  ヴ Windows Feature Update 適用前に特定のアプリケーションを最新ページョンにアップデートしておくことが必要となる場合があるため、適用順序を指定しておくことにより、複数のアプリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。		するためのテンプレートが標準で提供されること。		
と。ただし、ログインユーザがインタラクティブにインストールウィザードを操作する必要があるアプリケーションも存在するため、ログインユーザ権限で任意のコマンドを実行させることも可能であること。           コ         Windows Feature Update や任意のアブリケーションの配信適用について、適用対象とする端末の条件、適用時点で必須とするディスク室き容量、適用スケジュール、適用成功要件を、管理者が指定できること。また、管理者が事前に設定することにより、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始することも可能であること。           サ         Windows Feature Update 適用前に特定のアブリケーションを最新パージョンにアップデートしておくことが必要となる場合があるため、適用順序を指定しておくことにより、複数のアプリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。           ウがあるため、適用順序を指定しておくことにより、複数のアプリケーションやや任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが前能なこと。           本間端大手が接続している無線 LAN に接続した端末の特定している無線 LAN に接続した端末の特定のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザを表示を表したが表示を表している無線 LAN に接続した端末の特定を表り、許可されている無線 LAN に接続した端末を表り、可されている無線 LAN に接続した端末できること。           を開端な命の対プリケース人及びスケジューリングにより実施できること。           を開着が入力した情報収集命令コマンドを自動で補完できること。           すことの対象のの結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。           が情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。           すことの表によれていまれて表に表に表に表します。           が情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。           が情報を確認していまれて表に表に表します。           がまれていまれていまれて表に表に表します。           がまれていまれていまれていまれていまれていまれていまれていまれていまれていまれてい	ケ	端末の管理者権限を有効化する処理を別途加えることなく、		
ルウィザードを操作する必要があるアブリケーションも存在するため、ログインユーザ権限で任意のコマンドを実行させることも可能であること。           Windows Feature Update や任意のフブリケーションの配信適用について、適用対象とする選末の条件、適用時点で必須とするディスク空き容量、適用スケジュール、適用成功要件を、管理者が指定できること。より、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始することも可能であること。           サ Windows Feature Update 適用前に特定のアプリケーションを最新パージョンにアップデートしておくことにより、複数のアプリケーションをWindows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。           シ 適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows バッチや任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメタセージを端末ユーザに表示させることが可能であること。           マ 管理端末が接続している無線 I.AN の SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の情報 LAN に接続した端末の特定が可能であること。           セ 情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。           タ 管理者が入力した情報収集命令コマンドを自動で補完できること。           チ エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール流端末を探索できること。           チ エージェントインストール流端末と標準できること。           ラ 型連者権限はグループ化できること。		任意のアプリケーションのインストールを一元管理できるこ		
するため、ログインユーザ権限で任意のコマンドを実行させ ることも可能であること。  Windows Feature Update や任意のアブリケーションの配信適 用について、適用対象とする端よの条件、適用時点で必須とす るディスク空き容量、適用スケジュール、適用成功要件を、管 理者が指定できること。また、管理者が事前に設定することに より、端よエーザが任意のタイミングで適用を開始すること。 も可能であること。  サ Windows Feature Update 適用前に特定のアブリケーションを 最新バージョンにアップデートしておくことが必要となる場 合があるため、適用順序を指定しておくことが必要となる場 合があるため、適用順序を指定しておくことが必要となる場 合があるため、適用順序を指定しておくことにより、複数のア ブリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自 動的に実施可能であること。  シ 適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows バッチ や任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意 のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。  マ 管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能 であり、許可まれていない SSID の無線 LAN に接続した端末 の特定が可能であること。  セ 情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実 施できること。  タ 情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実 施できること。  ク 情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能 であること。  チ エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエー ジェント未インストール済端末と同じセグメント内のエー ジェント未インストールが端末と同じセグメント内のエー ジェント未インストールが端末と同じセグメント内のエー ジェント未インストールが端末と同じセグメント内のエー ジェント未インストールが端末と同じセグメント内のエー ジェント未インストールが描まと同じセグメント内のエー ジェント未インストールが描まと同じセグメント内のエー ジェント未インストールが描まと同じセグメント内のエー ジェント未インストールが描まと同じセグメント内のエー ジェント未インストールの ・ Tanium Discover (追加モジュール) ・ Tanium Deploy (追加モジュール) ・ Tanium Deploy (追加モジュール) ・ Tanium Deploy (追加モジュール) ・ Tanium Deploy (追加モジュール)		と。ただし、ログインユーザがインタラクティブにインストー		
コ       Windows Feature Update や仟意のアプリケーションの配信適用について、適用対象とする端本の条件、適用時点で必須とするディスク空き容量、適用スケジュール、適用成功要件を、管理者が指定できること。また、管理者が事前に設定することにより、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始すること。可能であること。         サ       Windows Feature Update 適用前に特定のアプリケーションを最新バージョンにアップデートしておくことが必要となる場合があるため、適用順序を指定しておくことが必要となる場合があるため、適用順序を指定しておくことにより、複数のアプリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。         シ       適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows アリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。         ス       管理端末が接続している無縁 LAN の SSID の情報を取得可能であら、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。         セ       情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。         グ       管理者が入力した情報収集命令コマンドを自動で補完できること。         タ       情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         チ       エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェントネインストール端本を探索できること。         ラ       エージェントインストール端末を探索できること。         ラ       工で表立とのでは過ルモジュール)・Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加・モジュール)・Tanium Deploy (追加・モジェール)・Tanium Deploy (追加・モジュール)・Tanium Deploy (追加・モジュール)・Tanium Deploy (追加・モジュール)・Tanium Deploy (追加・モジュール)・Tanium Deploy (担加・モジュール)・Tanium Deploy (担加・モジュール)・Tanium Deploy (担加・モジュール)・Tanium Deploy (担加・モジュール)・Tanium Deploy (担加・エル・ビジー・Tanium Deploy (担加・エル・ビジー・Tanium Deploy (担加・エル・ビジー・Tanium Deploy (担加・エル・ビジー・Tanium Deploy (担加・エル・エル・エル・エル・エル・エル・エル・エル・エル・		ルウィザードを操作する必要があるアプリケーションも存在		
コ         Windows Feature Update や任意のアブリケーションの配信適		するため、ログインユーザ権限で任意のコマンドを実行させ		
用について、適用対象とする端末の条件、適用時点で必須とするディスク空き容量、適用スケジュール、適用成功要件を、管理者が指定できること。また、管理者が事的できること。より、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始することも可能であること。         サ       Windows Feature Update 適用前に特定のアプリケーションを最新バージョンにアップデートしておくことが必要となる場合があるため、適用順序を指定しておくことにより、複数のアプリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。         シ       適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows バッチや任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。         ス       管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。         セ       情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。         タ       管理者が人力した情報収集命令コマンドを自動で補完できること。         タ       情報収集命命の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         チ       エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェントネインストール端末を探索できること。         ウ       管理者権限はグループ化できること。         5       想定機種         ・ Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加・ビジュール)・Tanium Deploy (追加・ビジュール)・Tanium Deploy (追加・ビジュール)・Tanium Deploy (記加・ビジュール)・Tanium Deploy (記加・ビジュール)・Taniu		ることも可能であること。		
用について、適用対象とする端末の条件、適用時点で必須とするディスク空き容量、適用スケジュール、適用成功要件を、管理者が指定できること。また、管理者が事的できること。より、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始することも可能であること。         サ       Windows Feature Update 適用前に特定のアプリケーションを最新バージョンにアップデートしておくことが必要となる場合があるため、適用順序を指定しておくことにより、複数のアプリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。         シ       適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows バッチや任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。         ス       管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。         セ       情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。         タ       管理者が人力した情報収集命令コマンドを自動で補完できること。         タ       情報収集命命の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         チ       エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェントネインストール端末を探索できること。         ウ       管理者権限はグループ化できること。         5       想定機種         ・ Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加・ビジュール)・Tanium Deploy (追加・ビジュール)・Tanium Deploy (追加・ビジュール)・Tanium Deploy (記加・ビジュール)・Tanium Deploy (記加・ビジュール)・Taniu	コ	Windows Feature Update や任意のアプリケーションの配信適		
るディスク空き容量、適用スケジュール、適用成功要件を、管理者が指定できること。また、管理者が事前に設定することにより、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始することも可能であること。           サ         Windows Feature Update 適用前に特定のアプリケーションを最新バージョンにアップデートしておくことが必要となる場合があるため、適用順序を指定しておくことにより、複数のアプリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。           シ         適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows バッチや任意のアプリケーションの周用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。           ス         管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。           す         情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。           が理者が入力した情報収集命令コマンドを自動で補完できること。           ク         情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。           オージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。           ク         管理者権限はグループ化できること。           5         想定機種           ・ Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Patch (適加モジュール)・Tanium Patch (適加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)           6         構築・導入・展開全般           本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。		*		
理者が指定できること。また、管理者が事前に設定することに より、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始すること も可能であること。  サ Windows Feature Update 適用前に特定のアプリケーションを 最新バージョンにアップデートしておくことにより、複数のア プリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自 動的に実施可能であること。  シ 適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows バッチ や任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意 のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。  管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能 であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末 の特定が可能であること。  セ 情報収集命合はリアルタイム及びスケジューリングにより実 施できること。  タ 情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能 であること。  チ エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。  グ 管理者権限はグループ化できること。  1 起定機種 ・ Tanium Core Platform (基本システム) ・ Tanium Discover (追加モジュール) ・ Tanium Deploy (追加モジュール) ・ Tanium Deploy (追加モジュール) ・ Tanium Deploy (追加モジュール)  6 構築・導入・展開全般  本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理 を行うこと。				
より、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始することも可能であること。         サ       Windows Feature Update 適用前に特定のアプリケーションを最新バージョンにアップデートしておくことにより、複数のアプリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。         シ       適用双ケジュールを管理者が指定する場合、Windows バッチや任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。         さり理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であること。       管理端末が接続している無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。         セ       情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。         タ       情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         タ       情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         チ       エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。         ツ       管理者権限はグループ化できること。         5       想定機種         ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)         6       構築・導入・展開全般         本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。				
サ         Windows Feature Update 適用前に特定のアプリケーションを最新バージョンにアップドートしておくことが必要となる場合があるため、適用順序を指定しておくことにより、複数のアプリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。           シ         適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows バッチや色のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。           ス         管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であり、計可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。           セ         情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。           ツ         管理者が入力した情報収集命合コマンドを自動で補完できること。           オ         エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェントオインストール端末を探索できること。           サ         エージェントインストール満端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。           ウ         管理者権限はグルーブ化できること。           5         想定機種           ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加・ビュール)・Tanium Depl		より、端末ユーザが任意のタイミングで適用を開始すること		
サ         Windows Feature Update 適用前に特定のアプリケーションを 最新バージョンにアップデートしておくことが必要となる場合があるため、適用順序を指定しておくことにより、複数のアプリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。           シ         適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows パッチや任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。           ス         管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。           セ         情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。           ダ         情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。           タ         情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。           チ         エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。           ツ         管理者権限はグループ化できること。           5         想定機種           ・Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加・モジュール)・Tanium Deploy (記加・				
最新パージョンにアップデートしておくことが必要となる場合があるため、適用順序を指定しておくことにより、複数のアプリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。     適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows パッチや任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。      管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。      甘楠収集命合はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。     夕 情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。     チ エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。     ツ 管理者権限はグループ化できること。     ラ 想定機種     ・ Tanium Core Platform (基本システム)・ Tanium Discover (追加モジュール)・ Tanium Deploy (追加モジュール)・ Tanium Deploy (追加モジュール)     ・ Tanium Deploy (追加モジュール)     ・ Tanium Deploy (追加モジュール)     ・ Tanium Deploy (追加モジュール)     ・ Tanium Deploy (追加モジュール)	サ			
合があるため、適用順序を指定しておくことにより、複数のアプリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。  適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows バッチや任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。  名 管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。  セ 情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。  ク 情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。  チ エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端端を探索できること。  ツ 管理者権限はグルーブ化できること。  ***  ***短視性***		*		
ブリケーションや Windows Feature Update の連続適用が自動的に実施可能であること。         シ 適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows パッチや任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。         ス 管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。         セ 情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。         タ 情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         タ 情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         チ エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。         ツ 管理者権限はグルーブ化できること。         5 想定機種         ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)         ・ Tanium Deploy (追加モジュール)         ・ Tanium Deploy (追加モジュール)         ・ 本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。				
動的に実施可能であること。           シ 適用スケジュールを管理者が指定する場合、Windows パッチや任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。           ス 管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。           セ 情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。           タ 情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。           チ エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端未を探索できること。           ツ 管理者権限はグループ化できること。           5 想定機種           ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)           ・ Tanium Core Reflace           6 構築・導入・展開全般           ア 本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。				
や任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。         管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。         セ 情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。         タ 管理者が入力した情報収集命令コマンドを自動で補完できること。         タ 情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         チ エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。         ツ 管理者権限はグループ化できること。         5 想定機種         ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)         ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)         6 構築・導入・展開全般         ア 本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。				
や任意のアプリケーションの適用時に、事前に設定した任意のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。         管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。         セ 情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。         タ 情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         タ 情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         チ エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。         ツ 管理者権限はグループ化できること。         5 想定機種         ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)         ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)         6 構築・導入・展開全般         ア 本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。	シ			
のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。         ス       管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。         セ       情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。         グ       管理者が入力した情報収集命令コマンドを自動で補完できること。         タ       情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         チ       エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。         ツ       管理者権限はグループ化できること。         5       想定機種         ・Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)         6       構築・導入・展開全般         ア       本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。				
ス       管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末の特定が可能であること。         セ       情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。         グ       管理者が入力した情報収集命令コマンドを自動で補完できること。         タ       情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         チ       エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。         ツ       管理者権限はグループ化できること。         5       想定機種         ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)         ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)		のメッセージを端末ユーザに表示させることが可能なこと。		
できますのできます。       できまます。         できまます。       できまます。         できまます。       できままます。         できまます。       できまままままでできます。         できまます。       できままままままままままままます。         できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	ス	管理端末が接続している無線 LAN の SSID の情報を取得可能		
セ       情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実施できること。         ソ       管理者が入力した情報収集命令コマンドを自動で補完できること。         タ       情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         チ       エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。         ツ       管理者権限はグルーブ化できること。         5       想定機種         ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)         6       構築・導入・展開全般         ア       本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。		であり、許可されていない SSID の無線 LAN に接続した端末		
施できること。         グ       管理者が入力した情報収集命令コマンドを自動で補完できること。         タ       情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         チ       エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。         ツ       管理者権限はグループ化できること。         5       想定機種         ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)         6       構築・導入・展開全般         ア       本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。		の特定が可能であること。		
ソ       管理者が入力した情報収集命令コマンドを自動で補完できること。         タ       情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         チ       エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。         ツ       管理者権限はグループ化できること。         5       想定機種         ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)         ・ Tanium Deploy (追加モジュール)         ・ 本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。	セ	情報収集命令はリアルタイム及びスケジューリングにより実		
こと。         タ       情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         チ       エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。         ツ       管理者権限はグループ化できること。         5       想定機種         ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)         6       構築・導入・展開全般         ア       本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。		施できること。		
タ       情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能であること。         チ       エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。         ツ       管理者権限はグループ化できること。         5       想定機種         ・ Tanium Core Platform (基本システム)・Tanium Discover (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Patch (追加モジュール)・Tanium Deploy (追加モジュール)         6       構築・導入・展開全般         ア       本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。	ソ	管理者が入力した情報収集命令コマンドを自動で補完できる		
であること。         チ       エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。         ツ       管理者権限はグループ化できること。         5       想定機種 <ul> <li>・ Tanium Core Platform (基本システム)</li> <li>・ Tanium Discover (追加モジュール)</li> <li>・ Tanium Patch (追加モジュール)</li> <li>・ Tanium Deploy (追加モジュール)</li> </ul> 6       構築・導入・展開全般         ア       本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。		こと。		
チ       エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエージェント未インストール端末を探索できること。         ツ       管理者権限はグループ化できること。         5       想定機種 <ul> <li>・Tanium Core Platform (基本システム)</li> <li>・Tanium Discover (追加モジュール)</li> <li>・Tanium Patch (追加モジュール)</li> <li>・Tanium Deploy (追加モジュール)</li> </ul> 6       構築・導入・展開全般         ア       本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。	タ	情報収集命令の結果は編集可能な様式でファイル出力が可能		
ジェント未インストール端末を探索できること。         ツ       管理者権限はグループ化できること。         5       想定機種 <ul> <li>・Tanium Core Platform (基本システム)</li> <li>・Tanium Discover (追加モジュール)</li> <li>・Tanium Patch (追加モジュール)</li> <li>・Tanium Deploy (追加モジュール)</li> </ul> 6       構築・導入・展開全般         ア       本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。		であること。		
<ul> <li>管理者権限はグループ化できること。</li> <li>想定機種         <ul> <li>Tanium Core Platform (基本システム)</li> <li>Tanium Discover (追加モジュール)</li> <li>Tanium Patch (追加モジュール)</li> <li>Tanium Deploy (追加モジュール)</li> </ul> </li> <li>構築・導入・展開全般         <ul> <li>本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。</li> </ul> </li> </ul>	チ	エージェントインストール済端末と同じセグメント内のエー		
5想定機種・ Tanium Core Platform (基本システム) ・ Tanium Discover (追加モジュール) ・ Tanium Patch (追加モジュール) ・ Tanium Deploy (追加モジュール)6構築・導入・展開全般ア本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。		ジェント未インストール端末を探索できること。		
5想定機種・ Tanium Core Platform (基本システム) ・ Tanium Discover (追加モジュール) ・ Tanium Patch (追加モジュール) ・ Tanium Deploy (追加モジュール)6構築・導入・展開全般ア本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。	W2	管理学権阻けがループルできること		
<ul> <li>・Tanium Core Platform (基本システム)</li> <li>・Tanium Discover (追加モジュール)</li> <li>・Tanium Patch (追加モジュール)</li> <li>・Tanium Deploy (追加モジュール)</li> </ul> 6 構築・導入・展開全般 本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。		自連有権限はグループ化できること。		
<ul> <li>・Tanium Core Platform (基本システム)</li> <li>・Tanium Discover (追加モジュール)</li> <li>・Tanium Patch (追加モジュール)</li> <li>・Tanium Deploy (追加モジュール)</li> </ul> 6 構築・導入・展開全般 本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。	5	相完機種		
<ul> <li>・Tanium Discover (追加モジュール)</li> <li>・Tanium Patch (追加モジュール)</li> <li>・Tanium Deploy (追加モジュール)</li> </ul> 6 構築・導入・展開全般 本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。				
<ul> <li>・Tanium Patch (追加モジュール)</li> <li>・Tanium Deploy (追加モジュール)</li> <li>構築・導入・展開全般</li> <li>本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。</li> </ul>				
・Tanium Deploy (追加モジュール)         6       構築・導入・展開全般         ア       本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。				
6 構築・導入・展開全般 ア 本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理 を行うこと。				
ア 本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。		・ I anium Deploy(追加モシュール)		
ア 本契約について、構築に関する計画書を作成のうえ、進行管理を行うこと。	6	構筑・道法・屈悶へ船		
を行うこと。				
	ア			
イ 本システムの構築に当たっては、必要な設計を行うこと。				
	1	本システムの構築に当たっては、必要な設計を行うこと。		

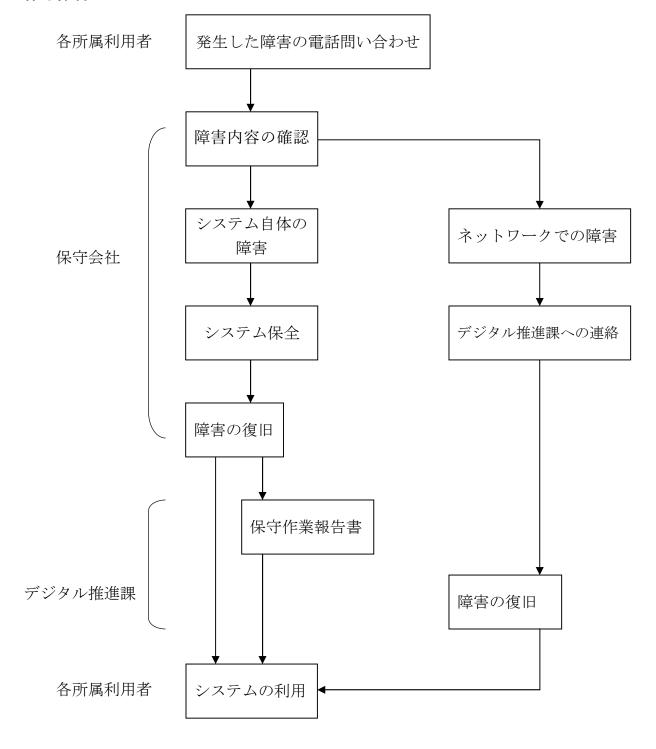
ウ	ライセンス等について必要数を導入・展開し、納入すること。		
工	導入において不具合等が極力生じないようにするため、導入・ 展開計画を策定しそれに沿って作業を進めること。		
7	設計		
7	構築段階における設計として、既存ネットワーク、既存システムなどの設定及び構成を踏まえたうえで、実現可能で、かつ、 既存の構成等にできるだけ影響を与えないような設計を行う こと。		
1	全ての構築作業及び各種試験が完了した段階で、構築された 資産管理システムが、機能面、運用面等において要求仕様を満 たし、かつ、正常に稼動していることを最終的に判断すること ができる稼働試験についても設計を行うこと。		
ウ	県における資産管理の実施状況に配慮し、職員への影響を最 小限に抑え、かつ、安全で確実に実施可能な導入作業が実施で きるよう留意すること。		
工	導入作業実施時には、業務端末や既存システムに関連するサーバ等において、担当職員及び既存ネットワークや既存システムに対する受託事業者に対して、可能な限り、負担が軽減されるような設計を行うこと。		
8	基盤構築		
ア	システム基盤は仮想化することとし、県が指示する仮想基盤 に対して構築を行うこと。なお、仮想化基盤の導入により、リソース効率化、冗長性向上による耐障害性・メンテナンス性の 向上を目指した構築を行うこと。		
イ	本システムは県が指定する仮想基盤(VMware ESXi)上に仮想 アプライアンスとして構築すること。なお、必要なシステムリ ソースは次に記載する値相当とすること。		
	Server① 1台 CPU:8コア メモリ:32GB HDD:2TB		
	Server② 1台 CPU:8コア メモリ:32GB HDD:1TB		
9 ア	導入・展開 端末へのエージェント導入については、利用者の業務を阻害 することが無いよう考慮し、配布方法に関するレビューを作 成すること。		
1	様子に用いるインストーラは、事前に県が準備する検証用クライアントを用いて動作検証を行うこと。動作検証の結果を運用管理者に報告し、承認を得たうえで全体の展開作業に移ることとする。		

ウ	導入時においてはチューニングを施しつつ、県の状況に合わ		
	せた展開等をすること。また導入作業中に、職員端末に不具合		
	が発生した場合は、速やかに原因を切り分け、対処することな		
	どを想定し、導入及び初期展開の期間は 9:00-17:00 での常駐		
	と同等の対応ができる体制を整えておくこと。		
工	県で現状運用している AD の組織情報と整合性が取れた、グ		
	ループを作成すること。		
オ	6,000 台の端末を管理する点について考慮し、ネットワークや		
	端末への負荷を必要最小限となるような仕組みを実現するこ		
	と。		
カ	端末へのエージェントのインストールに伴い、他のアプリケ		
	ーションに影響が出ないようにすること。		
キ	県が指定する要件を満たす情報収集命令コマンドを検討し、		
	作成すること。		
ク	端末へのエージェント配付については、県がその可否を決定		
	するため、十分な情報を提供し、質問等について対応するこ		
	と。		
ケ	県が求める運用に必要な手順を整備するにあたり必要な情報		
	を提供すること。		
コ	構築作業を実施する前に、県が指示する場所で、ネットワーク		
	管理資料及び既存の通信機器の設定を確認し、ネットワーク		
	構成及び庁内ネットワーク構成を十分に把握すること。作業		
	を実施するにあたっては、業務に与える影響が最小限となる		
	よう、事前に設定を完了した上で設置作業を実施すること。		
サ	現地での試験は、可能な限り本番環境を利用せずに試験する		
	方法を提案すること。本番環境を利用した事前評価について		
	は、事前に県の承認を得た上で作業を実施すること。		
シ	ネットワークのセグメント間の試験については、県と協議の		
	上、決定したポリシーに従い試験を実施すること。		
ス	各モジュールについては、インストールされ動作可能になっ		
	た状態で引き渡すこと。		
セ	各モジュール及びその連携について事前に試験項目を提示		
	し、県の承認を得ること。また試験項目基準をすべて満たした		
	上で引き渡すこと。		
ソ	設定作業及び試験等の完了後に、パラメータシート(設定内容		
	の詳細)と試験結果報告書(動作確認の結果報告を含む。)を		
	提出し、県の承認を得ること。		
タ	端末の状態や設定を条件にした動的グルーピングを行い、指		
	定されたグループを作成すること。		
	/CC44.C/ / CII/M/ J C C		
10	- 導入支援		
ア	利用方法のマニュアルを作成するとともに、県の運用担当部		
,	門に対し、使用方法の研修を実施すること。		
イ	利用方法のマニュアル (簡易マニュアルも含む) は日本語であ		
ъ.	ること。		
ウ	利用方法のマニュアル (簡易マニュアルも含む) は編集可能で		
	あること。		
		•	

11	運用保守業務		
P	導入製品ならびに関連する仮想基盤を保守の対象とし、常に 完全な機能を保つように保守を行うこと。契約期間終了日ま で、安定的な運用を行うとともに、設定や操作方法等の問い合 わせ対応等の運用・保守業務を行うこと。		
イ	本仕様書に記載されている要件を満たすものとし、運用保守 要員への引継、及び教育を行い運用フェーズへの円滑な移行 と安定稼動をはかること。		
ウ	導入初年度はメーカーサポートの有無を問わず、保守サポート体制を提供すること。		
工	ソフトウェアを導入したことに伴うサポートを適時実施する と共に有効活用の方法などについて相談できる体制を整える こと。		
オ	運用・サポートについては、平日(土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する祝日及び12月29日から翌年1月3日までの日以外を言う。)9時から17時までの間行うことすることとし、それ以外の時間についてもメール等で受け付けること。		
カ	初年度は安定稼働を目指し、下記の内容で運用サポートを行 うものとする。		
+	・正常な運転を維持するため、受託者は年一回、導入製品のバージョンアップ作業を行うこと。 ・障害が発生した際の対応支援及び、県より導入製品に対する質問や依頼があった場合には速やかに対応及び回答すること。 ・オペレーションエラーが発生時した際の基本的なエンドユーザーサポートを行う体制とすること。 ・既知の問題及びチューニングに関してナレッジベースへの対応を行える体制とすること。 ・未知の問題及びチューニングに関する導入製品のメーカーへのエスカレーションを行える体制とすること。 ・Windows Feature Update の実施サポートにおいて、年2回程度の支援が可能であること。 ・緊急性の高いセキュリティパッチ等の修正プログラムの適用が必要な場合は、県へ報告するとともに、県の承認のうえ、速やかに配信を実施すること。 バージョンアップなどで再度クライアント等を配布する状況が発生した場合は、配布について、サポートや支援をするこ		
ク	と。 県より、導入製品等に関する質問、依頼等があった場合には、		
ケ	速やかに対応及び回答をすること。 報告期間内の対応結果のサマリ、(緊急度の高いセキュリティ 関連情報)を含む月次レポートを提供すること。作成レポート には、(導入端末の端末のパッチ適用状況など脆弱性につなが る恐れがある情報等の健全性情報を含むこと。)		
コ	製品の運用に関して導入年度は必要に応じて、県の担当職員に運用状況について報告会を設けること。		

12	管理体制		
ア	本件を履行するにあたり、本業務受託者は県の担当者ならび に端末運用管理者との円滑な協力体制を実現すること。		
イ	本業務受託者は契約後速やかにプロジェクト計画書と共に作 業工程表を作成し、県の承認を得ること。		
ウ	スケジュールについては、県の関係者が実施する作業、作業量 及び県とのレビュー計画を明確にすること。		
I	適切な進捗管理を行い、月1回程度、状況確認等の報告を行うこと。		
才	進捗報告には計画と実際の進捗状況の差を明らかにし、遅延 が発生している際はその原因と対策を明らかにすること。		
13	成果品と納品方法		
	本契約受注者は、以下の成果物を作成し、県の承認を得るこ		
	と。また、導入製品の運用開始日までに、以下の電子ファイル		
	を 格納した媒体1部及び書面(A4縦)1部を県に納品する		
	てと。		
	(1)プロジェクト計画書		
	(2)基本設計書 (3)パラメータシート		
	(4)試験結果報告書		
	(5)運用マニュアル		
	(6)定期保守作業計画表		
	(7)保守作業完了報告書(媒体提出時は様式のみ)		
	(8)月次運用レポート例(媒体提出時は様式のみ)		
	(9)会議議事録(媒体提出後は都度提出すること)		

## 保守体制



## (見本)

### ソフトウェア資産管理システムの賃貸方式について

宮崎県が行うソフトウェア資産管理システムの借入に係る入札に関し、弊社が落札した場合には、下記のとおり、<u>第三者(契約上の丙の名称)</u>を通して、宮崎県に賃貸する方式を利用することを<u>第三者(契約上の丙</u>の名称) とともにここに誓約します。

記

宮崎県に賃貸する方式について

- 1 賃貸借契約の締結
  - 賃貸借契約は、宮崎県と弊社と 第三者(契約上の丙の名称) との三者間で締結します。
- 2 賃貸債務の履行

賃貸債務につきましては、弊社の責任において賃貸借契約に定めた条件で<u>第三者(契約上の丙の名称)</u>に履行させます。

- 3 賃貸料
- (1) 賃貸価格

弊社が落札した賃貸料で 第三者(契約上の丙の名称) から賃貸します。

(2) 賃貸料の請求

上記賃貸料を 第三者(契約上の丙の名称) から請求します。

4 第三者(契約上の丙の名称) の債務不履行

第三者(契約上の丙の名称) が正当な理由なく賃貸借契約に定められた債務を履行しない場合は、弊社が債務を履行します。

令和 年 月 日

宮崎県知事殿

(弊社)

住 所 〒

(ふりがな)

商号又は名称

(ふりがな)

氏 名 (法人の場合は代表者職氏名)

印

(第三者)

住 所 〒

(ふりがな)

商号又は名称

(ふりがな)

氏 名 (法人の場合は代表者職氏名)

钔

# 入札質問書

ソフトウェア資産管理システムの賃貸借に係る(入札説明書・仕様書)について、質問事項がありますので、提出します。

C ME O S 7 6	
	会社名
	所在地
££ 88 <del>-1</del> 7	所属/担当氏名
質問者	電話
	FAX
	E -mail
項目	
内 容	

(注) 質問事項が本様式に収まらない場合は、別紙としてください。

質問書の提出先 宮崎県総合政策部デジタル推進課

# 入 札 書

入 札 金 額	額					
入札の目的	下記物品の賃貸借					
納入の場所	仕様書の記載のとおり					
履行期間	令和6年2月1日から令和11年1月31日まで				_	
納入の方法	仕様書の	仕様書の記載のとおり				
入札保証金額					_	
		内 訳			_	
品 名	数量	賃借料月額	期間	金額		
ソフトウェア資産 管理システム	一式		60 月			
上記金額に100分の110を乗じて得た金額をもって納入したいので、ご呈示の仕様 書及び契約条項(請負条項)、宮崎県財務規則(昭和39年宮崎県規則第2号)並びに指 示事項を承知して入札いたします。						
令和 年	月 日					
		住所				
	入札者	商号又は名称				
		氏 名		印		
宮崎県知事 河野 俊嗣 殿						

# 委 任 状

		令和	年	月	日
宮崎県知事 河野	野 俊嗣 殿				
	任者) 住 所				
	商号又は名称				
	氏 名 (法人にあっては、代表者の職氏名)				<u> 即</u>
私は、 入札及び見積に	を代理人と定め 係る権限を委任します。	、ソフト	・ウェア	<b>了</b> 資産管	<b>育理システムの</b>
(受任者) 住	所			. – – – – -	
商号又はク	名称				
氏	名				<u>印</u>
代理人の	職名又は本人との関係			. – – – – -	
電	話				